

# こんにちはは 日本共産党

## いのくま正一です

区政報告

No. 7

1999年10・11月

日本共産党港区議員団  
〒105-8511  
港区芝公園1-5-25  
☎3578-2945  
FAX 3578-2947

### 芝公園に超高層ホテルは「いらない」

#### 「緑と文化財を守る」

#### 西武鉄道へ再度申し入れ

いのくま正一区議は、西武鉄道(株)が芝公園の中に計画している地上百メートルの超高層ホテル建設について、九月三日、「芝公園を守る会」とともに、誠意をもって引き続き説明会を行うことなどを、申し入れました。



埼玉へ移設された御成門

これにもとづいて西武鉄道は、九月二九日に三回目の説明会を開催しました。しかし、丸山古墳群などの学術調査をおこなうことは約束したものの、質問や意見に誠意をもって答えようせず、交通量や、水害対策、などの芝公園の環境を守る問題をはじめ、この間、大きな問題になっている文化財の保全、埼玉へもち去った貴重な文化財を芝公園に戻すべき、との意見にまったく耳をかさず「今回のホテル建設とは関係ない。戻すつもりはない」という態度に終止しています。

もともと、四〇数年前に西武鉄道が、東京プリンスホテルや



宝塔も埼玉へ移設された

### 敬老祝金復活を否決

#### 自民・公明など

#### お年寄りに冷たい姿勢

日本共産党区議団七名と一票の会の八名が共同して提案していた「敬老祝金の支給に関する条例」(七十才以上の方全員に七千円を支給する)が、第三回定例区議会最終日の九月十七日の本会議で、自民、区民クラブ、公明党、かがやきなどオール与党によって否決されました。これは、「敬老祝金」の復活を望む声を受け、共産党区議団と一票の会が共同して「条例」提案していたものです。

敬老祝金は、七十五才以上の方の長寿を祝い「敬老の日」を前後して民生委員さんを通じて渡され、大変喜ばれていました。ところが菅谷区政は「財政危機」を口実に九七年度(平成九年)度から廃止しました。都心区で廃止したのは港区だけで、現在十区で引き続き支給しています。これはお金の問題ではなく、高齢者の長寿をお祝いする気持ちの問題です。九月三日に開かれた保健

敬老祝金条例に反対する各会派の態度(賛成○ 反対●)	
日本共産党	○
一票の会	○
自民党	●
港区民ク	●
公明党	●
かがやき	●
元氣会	●

ゴルフ練習場などを建設する際に、計画地内の文化財を埼玉へ移設し丸山古墳群も破壊したのです。この事実も多くは住民・関係者の知るところです。

また、具体的資料をもとに質問しても、「私どもの社内には、以前の開発に関連した文化財関係の資料がないのでわからない。調査したい」との答えしかせず、まともに調査した形跡はありません。

しかも、九月二九日の説明会は、午後一〇時一五分を過ぎ、質問が続出しているにもかかわらず、「これ以後の説明会はいたしません。終了します」と一方的に打ち切ろうとしました。説明会参加者は、「こんなに遅い時間になってしまった。明日の仕事にも影響がでてしまう。質問もまだあるので本日は休憩とし、土曜日開催も含め改めて統会すべき」と説明会参加者の総意を示して会場を後にしました。

この経過からしても、事前の説明会が終わったとは、とても言えません。西武鉄道が、「芝公園の整備」を真剣に考えているなら、住民が質問している内容に誠意をもって答えるべきです。

いのくま区議は、文化財の復元と芝公園を守るため、引き続き、事前の説明会の開催・統会を強く申し入れました。

福祉常任委員会で「敬老祝金条例」が審議されましたが、まともに質問、審議がされないうちに、自民党、公明党などが多数で「条例」を否決、引き続き本会議での否決となったものです。

敬老祝金支給の復活に必要なお金は約一億三千万円。九八年度決算の剰余金は約二十八億円ですから、そのわずか四・六%です。日本共産党区議員団は、区民のみならずと力を合わせ実現のため引き続き全力でがんばります。

### 介護保険の申請がはじまる

#### このまゝ「保険料あって介護なし」

#### 小さなことでもご相談を

「保険料や利用料はどうなるのか?」「介護を受けた人は誰でも受けられるのか?」「特別養護老人ホームに入れるのか?」などなど、今、不安と疑問の声が上がっています。

来年四月実施の介護保険制度ですが、一番の問題は、今まで国と自治体で負担していた費用を、四、五〇〇億円も削って、国民からは保険料を二兆円も取り上げる内容にあります。

しかも、特別養護老人ホームなどの基盤整備が遅れ、入りたくても入れない状態です。また、介護サービスを受けたいと申請しても、要介護認定がされなければ、サービスは受けられません。

日本共産党は国会、都議会、そして港区議会でも、誰でも安心して受けられる制度への改善を要求しています。力を合わせて実現しましょう。

介護保険に関するご相談を受けています。不安なことや、わからないことがありましたら、お気軽に連絡ください。

